

# 2019年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業 地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名

みやき町

(都道府県:佐賀県)

## 1. 当該地域の情報 (2019年12月現在)

地域の課題	<p>本町に居住する外国人住民の割合は、令和元年12月末現在で技能実習生が約7割となっている。技能実習生については、ほとんどが企業周辺に居住しており、地域住民と少なからず顔を合わせる機会がある。そのなかで、地域住民と町内に居住する技能実習生が同じ地域住民として支え合う関係構築を行うことが課題であり、重要である。</p> <p>また、技能実習生以外の外国人住民についても同様であり、日本人住民が広く多文化共生について理解し、日本人・外国人住民が共生し豊かなまちづくりを推進していくことも課題である。</p>
在住外国人数 外国人比率	<p>【在住外国人数】198人 【外国人比率】0.77%</p>
在留外国人の 状況	<p>【主な国籍と人数】中国67人 ベトナム67人 フィリピン25人 インドネシア12人 ミャンマー9人 ネパール7人 韓国6人 アメリカ2人 タイ1人 スリランカ1人 ニュージーランド1人</p> <p>【在留資格】技能実習133人 永住者38人 日本人の配偶者等7人 家族滞在4人 技術・人文知識・国際業務6人 定住者4人 特別永住者4人 技能1人 留学1人</p> <p>【滞在年数・在留期間などの状況】 技能実習生が一番多く、次いで永住者が多い状況となっている。技能実習生に関しては、外国人住民の約7割近くを占めており、今後も技能実習生が増えると考えられる。</p>
在住外国人の 日本語教育の現状	<p>本町の国際交流事業においては、外部団体であるみやき町国際交流会が活動しており、食文化交流会を通して、外国人との交流を行う場はあるが、料理交流の講師はほとんどが町外の外国人が務めていたため、本町在住の外国人と町民とが交流し、異文化理解をする場がない。また日本語教育等も行っていないのが現状である。</p>

## 2. 事業の内容

本プログラム取組年数	1年目			
事業の目的	<p>本町には、外国人と食文化交流会を通して交流を行う場はあるが、町外の外国人が講師となることがほとんどであり、町内在住の外国人と交流する場がなく、日本語教育を行う場がないのが現状である。</p> <p>町内在住の外国人住民が地域住民と交流し、地域住民主体により外国人住民が日本語や日本文化を学べる場をつくり、地域全体で多文化共生を考え、行動できるまちづくりを行うことを目的とする。</p>			
事業の概要	<p>【企業への調査】 技能実習生が多いことから、町内企業へ技能実習生などの外国人労働者雇用の有無を確認し、彼らの現状や生活上の課題を調査した。</p> <p>【その他団体への調査】 上記企業への調査で把握できなかった技能実習生については、コーディネーターからの情報等をもとに調査を実施した。</p> <p>【イベントとして日本語教室の開催】 多文化共生社会を実感、また、今後を見据えた日本語教室を想定し、イベントとして日本語教室を開催し、参加した外国人の日本語能力や今後の方向性を確認することができた。</p> <p>また、地域住民の参加者に対して、今後、日本語教室を実施していくにあたり、サポーターとして活動ができるか確認することができた。</p> <p>【先進地視察】 熊本市国際交流振興事業団を視察し、先進事例等をもとに、今後の方向性について協議を行うことができた。</p>			
事業の対象期間	2019年5月～2020年3月			
前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)				
担当コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	橋本 美雪	みやき町国際交流会	副会長	事務局との連絡調整
	北原 コズエ	みやき町国際交流会		教室のコーディネーター
	中村 静佳	にほんごきいまん		教室のコーディネーター
	武田 朋子	みやき町国際交流会		教室のコーディネーター
担当アドバイザー	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	砂川 裕一	<small>群馬大学/独立行政法人国際交流基金日本語国際センター</small>	名誉教授/所長	継続・新規(1年目)
	八木 浩光	<small>一般財団法人熊本市国際交流振興事業団</small>	事務局長	継続・新規(1年目)
	米勢 治子	東海日本語ネットワーク	副代表	継続・新規(1年目)

### 3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

#### (1) 地域における日本語教育の実施に向けた検討体制

検討体制			
	<p>まちづくり課を中心に、コーディネーターとともに事業の提案等を行う。その際、有識者である、アドバイザーからの助言をもとに事業等の検討を行う。 事業を行うにあたり、庁内関係各課に情報提供などの協力を依頼する。</p>		
所属(担当課)	担当者名	職名	
みやき町まちづくり課	島崎 浩二	課長	
みやき町まちづくり課	大坪 学	主幹	
みやき町まちづくり課	永田 晃己	主事	
みやき町国際交流会	橋本 美雪	コーディネーター	
みやき町国際交流会	北原 コズエ	コーディネーター	
にほんごきいまん	中村 静香	コーディネーター	
みやき町国際交流会	武田 朋子	コーディネーター	

#### (2) 日本語教室の実施に向けた事業運営体制図

地域の機関・団体との連携体制				
	組織・団体・機関名	担当部局	職名	担当者名
佐賀県	国際課	多文化社会コーディネーター	北御門 織絵	
(公財)佐賀県国際交流協会		主事	平 実穂	
みやき町国際交流会		会長	大森 斉	
警察	警備課			
消防	西消防署			
みやき町	住民窓口課	主事	大隈 瑛理香	
みやき町	総務課 選挙・防災担当	主事	北原 瑛士	
技能実習生受入企業	企業訪問等行いながら、連携・協力の依頼を行った			

#### 4. 具体的な取組内容

##### (1) 年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
2019年 4月			
2019年 5月	・キックオフ会議の開催 ・事業計画の作成、提出	・キックオフ会議に参加 ・事業計画について協議	★事業計画について協議 ・砂川シニアアドバイザー ・八木アドバイザー ・米勢アドバイザー
2019年 6月	・地域日本語教育の先進地の視察 ・空白地域解消推進協議会参加	・地域日本語教育の先進地の視察	
2019年 7月	・コーディネーター会議	・コーディネーター会議に参加 先進地視察の内容共有 意識調査の内容を調整	
2019年 8月	・アドバイザー会議 ・コーディネーター会議	・アドバイザー会議に参加 調査内容の細部の協議 今後の活動について協議 ・コーディネーター会議に参加 調査内容の最終確認 調査方法について協議	★調査内容の細部の協議 ★町内の現状について現地確認 ・砂川シニアアドバイザー ・八木アドバイザー ・米勢アドバイザー
2019年 9月	地域日本語教育の先進地の視察	・地域日本語教育の先進地の視察	
2019年 10月	・アンケート調査のための企業訪問 ・地域日本語教育スタートアッププログラム情報交換会	・アンケート調査のための企業訪問 ・地域日本語教育スタートアッププログラム情報交換会参加に参加	
2019年 11月	・コーディネーター会議 日本語教室のプレ開催の協議	・コーディネーター会議に参加 日本語教室のプレ開催の協議	
2019年 12月	・アドバイザー会議 アンケート調査の結果について 日本語教室のプレ開催の協議 ・コーディネーター会議 プレ教室の内容について協議	・アドバイザー会議に参加 アンケート調査の結果について 日本語教室のプレ開催の協議 ・コーディネーター会議に参加 プレ教室の内容について協議	★アンケート調査の結果について ★日本語教室のプレ開催の協議 ・砂川シニアアドバイザー ・八木アドバイザー ・米勢アドバイザー
2020年 1月	・コーディネーター会議 日本語教室のプレ開催の協議 ・日本語教室のプレ開催に伴う企業訪問	・コーディネーター会議に参加 日本語教室のプレ開催の協議 ・日本語教室のプレ開催に伴う企業訪問	
2020年 2月	・日本語教室のプレ開催 ・アドバイザー会議 日本語教室等の振り返り	・日本語教室のプレ開催に参加 サポーター等の新たな人材発掘や町内在住の外国人住民の交流等を目的とした、プレ日本語教室のシステムコーディネート プレ日本語教室の最終打ち合わせ プレ日本語教室の振り返り	★プレ日本語教室の最終打ち合わせ ★プレ日本語教室の振り返り ・砂川シニアアドバイザー ・八木アドバイザー ・米勢アドバイザー
2020年 3月			

### (3)その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
日本語教室のプレ開催	令和2年2月2日	日本語教室を立ち上げる為、サポーターの募集及び外国人住民、外国人労働者を雇用している企業並びに地域住民に現在の取組の周知を兼ねて、交流形式の日本語教室のプレ開催を実施した。
アンケート調査	令和元年10月～11月	企業及び町内在住の外国人に対し、日本語教育に関するアンケートを実施。外国人からは、地域の方との交流や生活に必要な日本語を学びたいとの回答があり、また、企業からは地域の方との交流をしてほしい、日本の文化や地域でのルールを学んでほしいなどの回答があった。

#### 【主な活動】



日本語教室のプレ開催の様子



日本語教室のプレ開催の様子

## 5. 今年度事業全体について

進捗状況	<p>2019年度事業で、町内企業で雇用されている外国人住民の現状について把握することができた。しかしながらすべての企業を把握することができていないため、今後も継続していく必要がある。</p> <p>町内在住の永住者等についても、今後、多方面から情報収集し、現状について把握していく必要がある。</p> <p>日本語教室の開設については、2019年度事業の中で、プレ教室の開催を行ったため、それをもとに教室を開設できるように計画していきたいと考えている。</p> <p>日本語教室の開設準備と並行して、サポーターの養成を実施していきたいと考えている。</p>
成果	<p>①実態調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業向け及び雇用されている外国人住民にたいして調査を実施したことにより、日本語教育の場や地域住民との交流の場を必要としていることが分かった。</li> <li>・一部の企業ではあるが、多文化共生への理解や積極的な参画の意思を確認することができた。</li> </ul> <p>②日本語教室のプレ開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語教室をプレで開催したことで、外国人参加者の日本語の能力などを把握することができた。</li> <li>・今後サポーターとして活動することができる人員の確保ができた。</li> </ul>
地域の関係者との連携による効果	<p>長年、町内において国際交流事業で活動されている「みやき町国際交流会」と協力することにより、会員や地域の方と連携を柔軟にとることができた。</p> <p>また、町内の企業を直接訪問することにより、担当者同士の連携がとりやすくなり、今後活動していくうえで、協力が得やすい関係を作ることができた。</p> <p>上記の事から、地域住民、企業が連携し、外国人住民が住みやすい地域づくりが期待できる。</p>
コーディネーターの主な活動	<p>①事業計画の策定(3.25H)</p> <p>②先進地視察(8H)</p> <p>③調査内容について協議(8H)</p> <p>④企業訪問(9H)</p> <p>⑤日本語教室開催のための調整(17.25H)</p> <p>⑥その他(3H)(文化庁の会議等)</p> <p style="text-align: right;">【コーディネーター別活動時間】</p> <p style="text-align: right;">A 48.5H</p> <p style="text-align: right;">B 43H</p> <p style="text-align: right;">C 32.5H</p> <p style="text-align: right;">D 40.5H</p>
アドバイザーの主な助言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の事業のターゲットとしては、みやき町の外国人住民だけではなく、在住・在勤の外国人など広く設定することが重要。</li> <li>・会議のメンバー等に外国人労働者を雇っている企業に参加してもらうことがキーになる。</li> <li>・みやき町は3町合併しているため、日本語教室の拠点については、何か所に置か、それとも1つにするのか検討する必要がある。</li> <li>・技能実習生が半数以上いるため、そこを巻き込んで事業を実施していかないとうまくいかないが、あくまでも今後、町を担って行くのは永住者等であって、そこを忘れてはいけない。</li> <li>・技能実習生が多いため、企業に対しての研修会等も日本語教室と併せて開催することが大事である。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に在住する永住者や日本人の配偶者等の実態の把握ができていないため、今後、情報収集を行いながら、実態の把握を行っていくことが必要となる。</li> <li>・企業向けや自治体職員向けに、やさしい日本語講座などを開催し、地域全体で多文化共生を推進していく必要がある。</li> </ul>
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語教育の場の設置に向けて、体制づくりの実施。</li> <li>・日本語教室を実施するにあたり、サポーターの養成講座を実施し、意識付けを行う。</li> <li>・自治体職員向けに講座等を開催し、多文化共生に関する知識の習得を行う。</li> <li>・企業とも連携し、日本語教室等に企業の社員も参加してもらい、多文化共生への理解を深める。</li> </ul>

本件担当 : 佐賀県みやき町事業部まちづくり課